

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

作成日: 令和 4年 7月25日

更新日: 令和 4年 9月21日

|        |    |     |               |         |        |
|--------|----|-----|---------------|---------|--------|
| 政策No.  | 2  | 政策名 | ともに生き支えあまちの形成 | 施策主管課   | 障がい福祉課 |
| 施策No.  | 14 | 施策名 | 障がい者福祉の充実     | 施策主管課長名 | 深澤 貴子  |
| 施策関連課名 |    |     |               |         |        |

**1 施策の目的と指標**

|                                    |   |                             |   |
|------------------------------------|---|-----------------------------|---|
| (1) 対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等     | (3) 対象指標(対象の大きさを表す指標)   | 単位                          |   |
| 市民                                 | A   | 人口                          | 人 |
|                                    | B   | 障がい者数                       | 人 |
|                                    | C   |                             |   |
| (2) 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)         | (4) 成果指標(意図の達成度を表す指標)   | 単位                          |   |
| 障がいの有無にかかわらず、誰もがいきいきと日常生活を送ることができる | ①   | 障がいのある方への声かけ、見守りを行っている市民の割合 | % |
|                                    | ②   | 障がい者の就労相談件数                 | 件 |
|                                    | ③   | 福祉しごとサポートに紹介し就労につながった件数     | 件 |
|                                    | ④   |                             |   |
| 成果指標設定の考え方<br>(成果指標設定の理由)          | ① 障がいのある方への市民の見守りの状況を示す/障がいの有無にかかわらず誰もがいきいきと暮らすためには、市民が障がい者への声かけ、見守りなどを行うことが必要不可欠であるため、成果指標とした。           |                             |   |
|                                    | ② 障がい者相談支援体制の浸透度・充実度を示す/障がい者が就労に関する相談窓口で気軽に、積極的に相談を受け、就労の可能性や職業選択の幅が広がることは、いきいきと日常生活に送ることにつながるため、成果指標とした。 |                             |   |
|                                    | ③ 障がい者の生活設計の目標状況を示す/障がい者が就労に関する相談窓口で気軽に、積極的に相談を受け、就労の可能性や職業選択の幅が広がることは、いきいきと日常生活に送ることにつながるため、成果指標とした。     |                             |   |
|                                    | ④   |                             |   |
| 成果指標の測定方法<br>(どのように実績値を把握するか)      | ① 市民アンケート『障害のあるかたへの見守り、声かけなどを行なっていますか』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した人の割合                                      |                             |   |
|                                    | ② 障害者相談支援センターで年間(4月1日～3月31日)で就労に関する支援を受けた人の件数   |                             |   |
|                                    | ③ 福祉しごとサポート(ハローワーク)に紹介し年間(4月1日～3月31日)で就労につながった件数  |                             |   |
|                                    | ④   |                             |   |

**2 指標等の推移**

| 指標名  | 単位 | 数値区分 | 前期基本計画 |        |        |        |        | 後期基本計画 |        |        |        |        |
|--|----|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
|  |    |      | H27年度  | H28年度  | H29年度  | H30年度  | R1年度   | R2年度   | R3年度   | R4年度   | R5年度   | R6年度   |
| A 人口   | 人  | 見込み値 |        |        |        |        | 71,038 | 70,568 | 70,041 | 69,521 | 68,996 | 68,430 |
|  |    | 実績値  | 72,305 | 72,018 | 71,880 | 71,602 | 71,370 | 71,249 | 71,395 |        |        |        |
| B 障がい者数  | 人  | 見込み値 |        |        |        |        | 3,991  | 3,995  | 3,999  | 4,003  | 4,007  | 4,011  |
|  |    | 実績値  | 3,908  | 3,918  | 3,986  | 3,987  | 3,981  | 4,014  | 3,993  |        |        |        |
| C  |    | 見込み値 |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
|  |    | 実績値  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| ① 障がいのある方への声かけ、見守りを行っている市民の割合  | %  | 目標値  | -      | -      | -      | -      | -      | 28.5   | 30.5   | 32.5   | 34.5   | 36.5   |
|  |    | 実績値  | -      | -      | -      | 26.5   | 24.4   | 25.9   | 25.8   |        |        |        |
| ② 障がい者の就労相談件数  | 件  | 目標値  | -      | -      | -      | -      | -      | 365    | 377    | 389    | 401    | 413    |
|  |    | 実績値  | 564    | 426    | 411    | 353    | 483    | 459    | 624    |        |        |        |
| ③ 福祉しごとサポートに紹介し就労につながった件数  | 件  | 目標値  | -      | -      | -      | -      | -      | 11     | 12     | 13     | 14     | 15     |
|  |    | 実績値  | -      | -      | -      | -      | 17     | 17     | 22     |        |        |        |
| ④  |    | 目標値  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
|  |    | 実績値  |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| 目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)   |    |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| ① 市民アンケート『地域で見守り、声かけなどの助け合いが行われていると感じますか。』の実績値36.9%と同水準にすることを目標値とした。             |    |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| ② 相談体制や障がい者への周知も充実し、就労相談も増え福祉しごとサポートにつながる事が可能となり、過去5年間の新規相談数の平均値12件を毎年の目標増分値とした。 |    |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| ③ 福祉しごとサポートにつながり、継続的に連携しながら支援することにより、就労の斡旋となり就職可能となる障がい者が年間1件を毎年の目標増分値とした。       |    |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |
| ④  |    |      |        |        |        |        |        |        |        |        |        |        |

**3 施策の役割分担**

|   |   |
|---|---|
| ① 市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)  | ② 行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが住み慣れた地域で、その人らしく自立しながら生活を続けていくことを支えていこうという考えをもつ。</li> <li>地域社会と共存することにより、障がい者の暮らしの場が地域へ移行し、障がい者本人が仕事をすることへの希望が高まる。</li> <li>民間事業者がどれだけ障がい者の就労の場として受け皿を増やし、雇用義務目標をあげていく。</li> <li>障がい者本人の目標として、就労に必要な能力(日常生活の管理・対人技能・労働習慣・職業適性)を身に着ける。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者の望む地域生活の支援。</li> <li>サービスの質の確保・向上に向けた環境整備。</li> <li>希望に応えるための福祉サービスの多様化や、これまで以上に決め細やかな支援。</li> <li>福祉しごとサポート(ハローワーク)と連携し支援を行っている。</li> </ul> |

**4 施策の状況変化・住民意見等 ※目標設定の前提とした後期基本計画策定時点の状況変化・住民意見等を記載しています。**

|   |  |
|---|--|
| ① 施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(～R6年度末を見越して)どのように変化するか?)   | ② 関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>住み慣れた地域で、誰にも気兼ねすることなく一人で生活するニーズが増えることにより、更にきめ細やかな支援が求められる。</li> <li>国の制度の充実により、サービスも充実してきている。</li> <li>身体障害の手帳の保持者数は減り、知的障がい、精神障害の手帳を持つ人の数が増えている。</li> </ul> | <p>第4次障がい者計画(令和2年～令和6年)の策定にあたり障がいのある方々に施策に対する意向等を調査を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者本人の能力のアップや体調管理も心配だが、職場内の配慮や環境整備を望んでいる。</li> <li>障がい者の正規社員として雇用してくれる会社が増えてほしい。</li> <li>障がい者が安心してすごせる場所がほしい。</li> <li>気軽に相談でき、情報提供が受けられる身近な相談窓口や適正な療育やカウンセリングができる専門機関の設置。</li> <li>利用できるサービスをわかりやすく知りたい。今のサービスは後退しないであほしい。</li> </ul> |

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

| 区分             | 2年度       | 3年度       | 4年度       | 5年度     | 6年度 |
|----------------|-----------|-----------|-----------|---------|-----|
| 関連事業本数         | 35        | 34        | 33        |         |     |
| 関連事業予算額(単位:千円) | 2,161,730 | 2,242,894 | 2,360,190 |         |     |
| (予算額の内訳)       | 国庫支出金     | 870,625   | 917,959   | 992,665 |     |
|                | 県支出金      | 552,943   | 572,660   | 610,946 |     |
|                | 地方債       | 0         | 0         | 0       |     |
|                | その他       | 180       | 180       | 50      |     |
|                | 一般財源      | 737,982   | 752,095   | 756,529 |     |

|  |  |   |
|--|--|---|
| (1) 目標達成度(目標値との比較)   |  | ※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)   |
| <input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった<br><input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった<br><input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった<br><input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった<br><input type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった |  | 「障がいのある方への声かけ、見守りを行っている市民の割合」は、目標値には4.7%達していない。課題として、地域においての障害に対する理解の浸透度や障がい者との接点が少ないなどが考えられる。「障がい者の就労相談件数」及び「福祉しごとサポートに紹介し就労につながった件数」は目標値を大きく上回った。福祉しごとサポート(ハローワーク)と障害者相談支援センターの連携が定着した結果と考えられる。   |
| (2) 時系列比較(どのように変化してきたか)  |  |   |
| <input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した<br><input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した<br><input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態)<br><input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した<br><input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した        |  | 「障がいのある方への声かけ、見守りを行っている市民の割合」は近年横ばいである。「障がい者の就労相談件数」は年々のばらつきはあるが、令和3年度は624件と著しく増加した。福祉しごとサポート(ハローワーク)で就職につながらなかった障がい者が、就労支援のサービスを利用して一般就労を目指すために、障害者相談支援センターに相談したことが要因と考えられる。「福祉しごとサポートに紹介し就労につながった件数」は近年横ばいだったが、令和3年度は22件と昨年度より5件増加した。福祉しごとサポート(ハローワーク)と障害者相談支援センターの連携が定着した結果と考えられる。 |
| (3) 他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)  |  | ※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)   |
| <input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である<br><input type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である<br><input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である<br><input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である<br><input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である           |  | 県内他市に同様な指標がなく比較は難しいが、就労相談件数や就労につながった件数が増加したことから、障がい者が積極的に一般就労を目指し、自立した日常生活を送ることに繋がっている。利用し易いだけでなく、質の高い相談体制の充実に向け、支援者の人材育成に取り組んでいる。また、障害や様々な特性・背景を抱える人たちの乳幼児期から成人までのライフステージを通じた支援ができるよう、福祉・保健・教育・医療及び就労等の支援関係機関と連携し、途切れない支援の推進を図っている。  |

7 基本計画期間における施策方針

|   |
|---|
| (1) 施策の基本方針   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者が望む地域生活を送ることができるよう支援に努める。</li> <li>・障がい児支援のニーズの多様化へのきめ細やかな対応に努める。</li> <li>・サービスの質の確保・向上に向けた環境の整備に努める。</li> </ul> |

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R4年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R5年度)の方針

| 基本事業           | 今年度(R4)の取組(事務事業)状況及び今後の課題   | 次年度(R5)の方針  |
|----------------|---|---|
| 1 障がいの理解の促進    | 障害理解促進を図ることを目的とした市民向け研修会やイベント等の実施。家族や施設従事者向けの権利擁護についての研修の実施。医療的ケア児が増加し災害時の不安があるため、関係機関との情報の共有に向け取り組む。   | 家族向け、施設従事者向けの権利擁護についての研修を実施する。医療的ケア児の災害時等の訓練を行う。障害手帳を保持しない児童の福祉サービス利用者が増加しているため、支援者(教職員、保育士、学童支援員等)の障害理解を深めるための研修の実施。 |
| 2 相談事業の推進と充実   | 障害や様々な特性・背景を抱える人たちの乳幼児期から成人までのライフスタイルを通じた支援ができるよう、福祉・保健・教育・医療・就労関係機関との途切れない支援の推進。基幹相談支援としての機能が低下しているため、障害者支援センターの委託内容の見直し。地域福祉の充実を図ることを重点に職員と障害者相談支援センターのスキルアップを行う。 | 途切れない支援の継続。地域の相談支援事業者との連携調整や関係機関への支援ができる体制づくり。障害者相談支援センターを保健福祉部内の重層的相談支援体制の一つとして整備することを視野に、連携を強化する。専門業務・支援者の人材育成。     |
| 3 生きる力を養う環境の整備 | 障がい者と市民が交流し、働く意欲・楽しさ・社会とのつながりが持てる場の提供。就労継続A型・B型から一般就労に繋がりにくいことが課題である。   | 障害者と市民との交流の場を定期的・広域的に開催し、障害者の活躍の場を拡大する。就労定着支援に向け障害者相談支援センターの支援強化を図る。  |
| 4              |   |   |
| 5              |   |   |